地域で進めよう！雑草の少ない牧草地づくり

概　要 Abstract

- リードカナリーグラスとシバムギが優占する草地には、前植生と播種床造成後に発芽した雑草へのグリホサート系除草剤処理の体系処理（２回処理）による草地更新で、牧草率90%程度の植生を確立できます。
- スラリー散布は草地更新後、翌年の最終番草までは散布を控え、その後は終番草後を除き刈取後は10日以内に散布することで植生が長持ちします。
- 草地の植生改善を地域で取り組む方法を示しました。

地下茎型イネ科雑草を
再生させない！

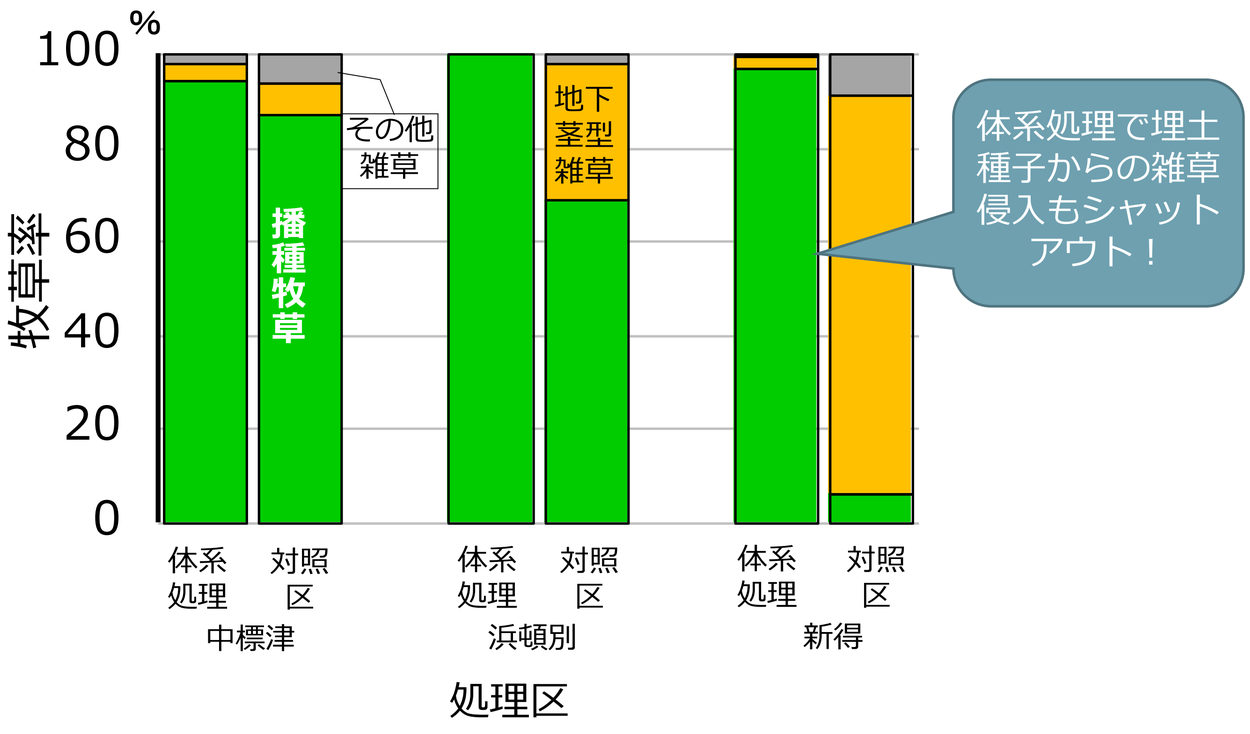
不適切な時期のスラリー
散布で草地を痛めない！

牧草率90%
程度の良好な
牧草地に
植生改善
しましょう！

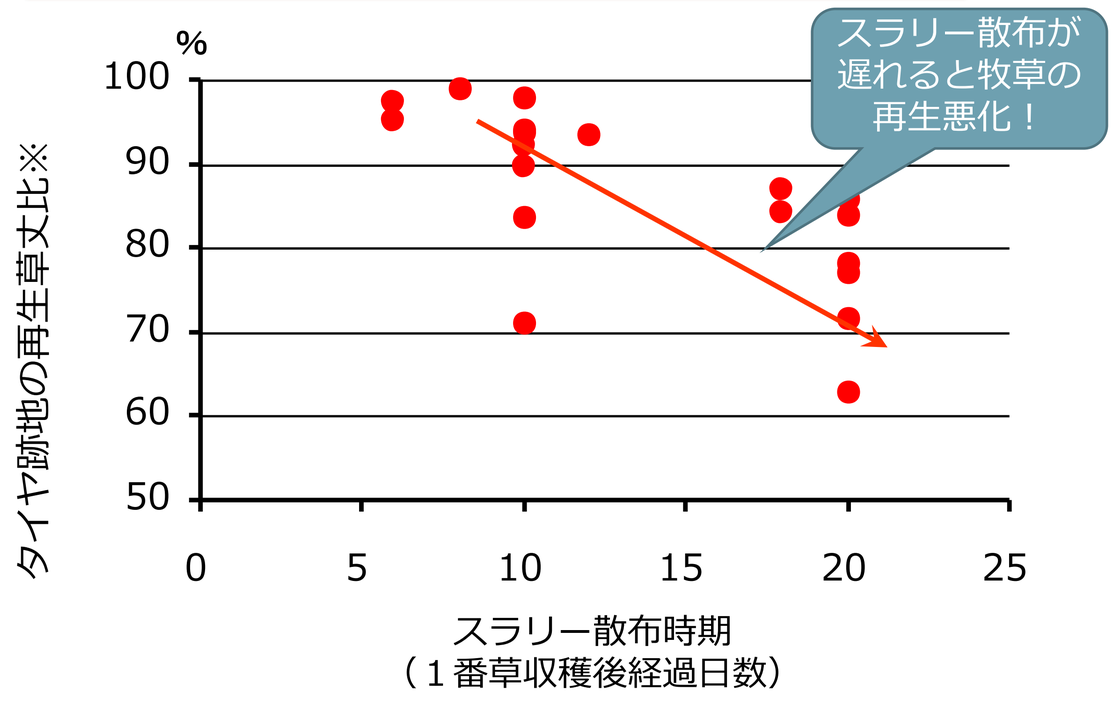
成　果 Results

地下茎型イネ科草種に対応したチモシー採草地の植生改善指針

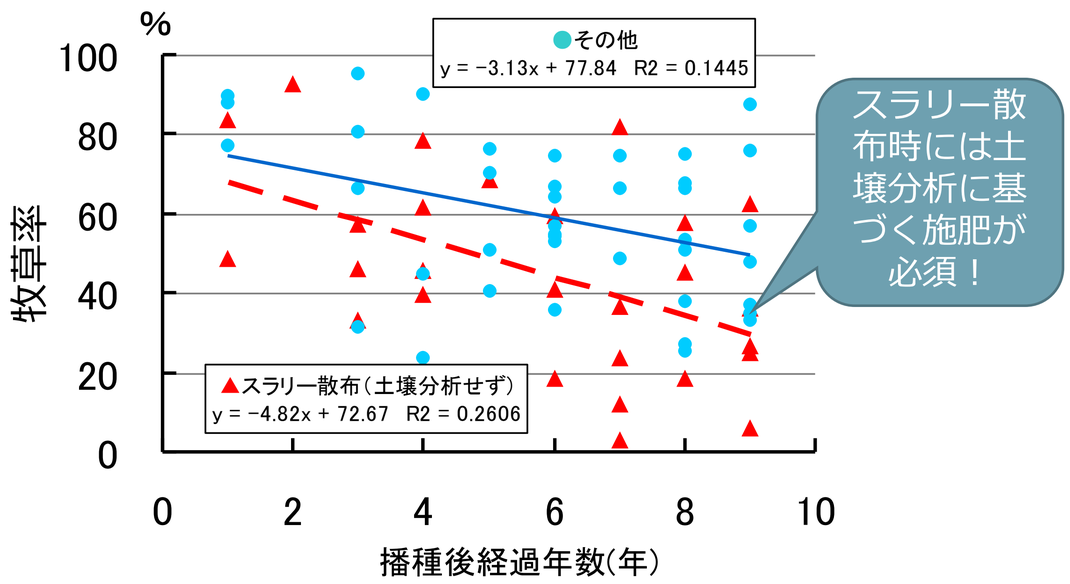
体系処理により草地更新後の牧草率を高めよう！



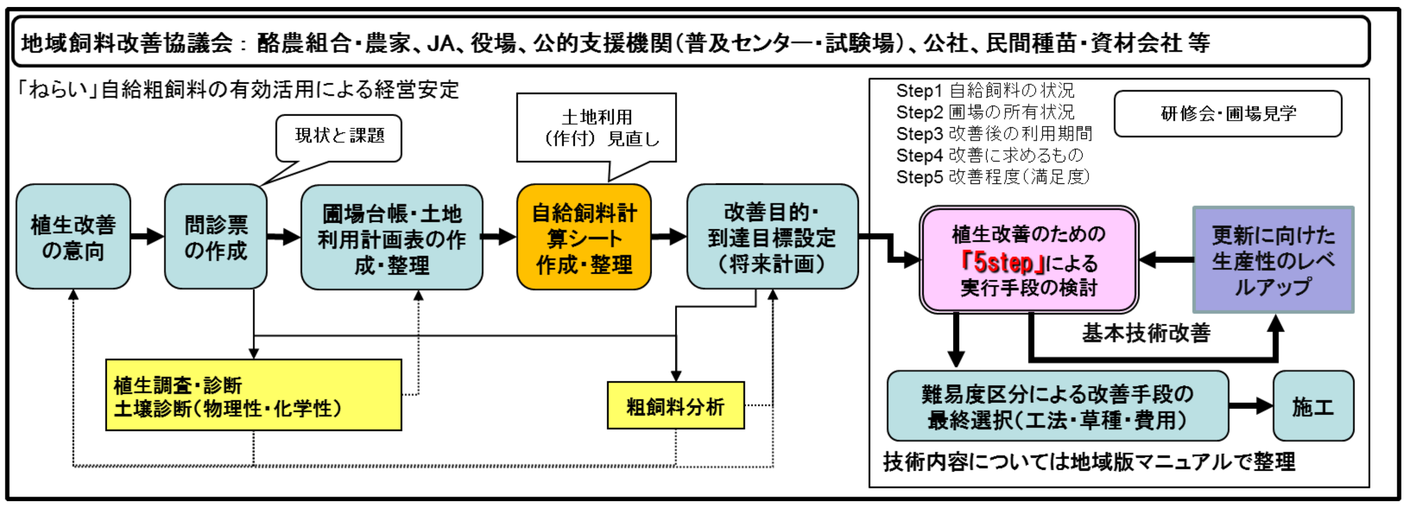
牧草刈取後のスラリー散布は10日以内に！



適切な施肥管理で高い牧草率を維持しよう！



地域単位で植生改善に取り組もう！



普　及 Dissemination

泥炭土壌では、グリホサート系除草剤の播種前処理（播種床処理）は避けてください。
詳しくは「草地の植生改善マニュアル２０１６」を参照ください。

連絡先 Contact

道総研 畜産試験場 基盤研究部 飼料環境グループ
０１５６－６４－０６２１
deguchi-kenzaburo@hro.or.jp